



海外時報



昨1936年中に発見された新彗星

昨1936年中に発見された豫期されなかつた新しい彗星は3個であり、其等の発見者は下の通りである。

1. 1936a. 米國のペルテニア氏が5月15日発見。
2. 1936b. 日本の下保氏が7月17日11.7時(萬國時)に最初に発見。續いて獨立にソ聯邦のコジク氏が同日17.5時に、ポ1ランドのリス氏が19.4時に発見した。
3. 1936c. 南亞のジャクソン氏が9月15日撮影の乾板から発見。又ソ聯邦のネウイミン氏が獨立に9月21日の乾板より発見した。之の彗星は8年半の短週期で、木星屬の新一員である。

ヘドリツク博士の訃

Henry B. Hedrick 博士は昨1936年10月6日に、71歳の高齡を以て死去された。博士は米國水路部に24年の長い間勤務され、種々の算數表を著作された所の天文學者であり、又數學者である。殊に同博士の「黃道帶恒星目錄」は有名であり、之の目錄は凡ての曆のために30年以上標準として用ゐられたものである。水路部編曆局を却つて9年間、彼はエ1ル大學の月の運動の大家ブラウン教授のもとで「月の運動の表」製作の手傳ひをしたこともある。

「自分の功績を鼻にかけぬ學者、實と誠の友、そして眞の人生を尊重する優しい氣立ての紳士」とは彼を評したモルガン教授の言葉であるが、彼を知る程の人は亦た皆之の言の適評である事を知る。